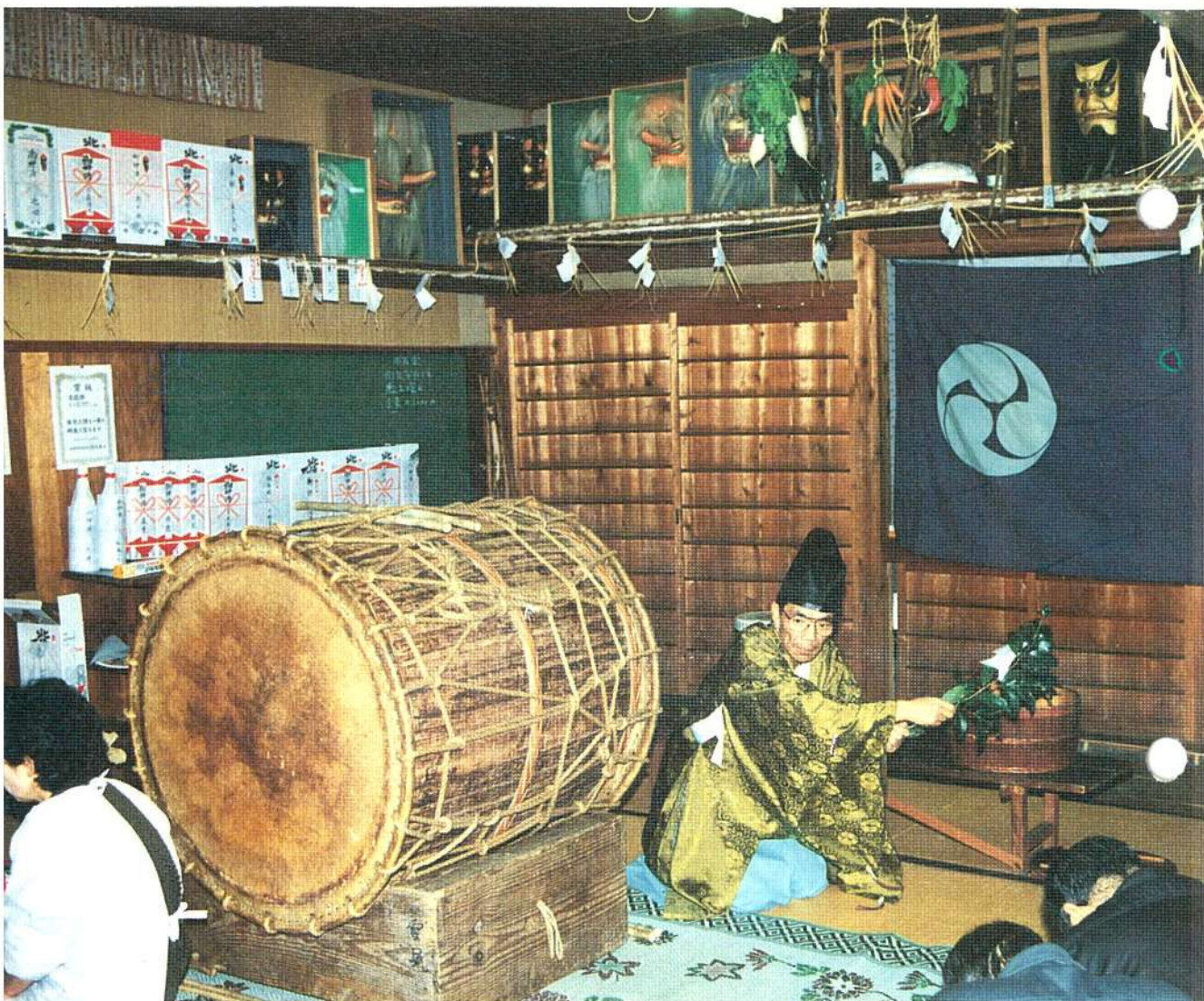


天領

第24号

1993年1月



社団法人 石見大田法人会会報

目 次

年頭の辞	1
平成四年度納税功労者表彰式	2
税のこぼれ話	3
石見大田税務署人事異動	4
平成四年度通常総会開催	5
広島国税局長と中国地方法人会連合会長との対談	6
質問手帳	8
第六回クイズおもしろ税ミナール開催	9
和田俊二氏広島国税局長表彰受章祝賀会	10
企業訪問《森田製菓株式会社》	12
第十回全国法人会総連合会員大会	14
税を知る週間行事「地区別ミニ税金フォーラム」	15
県央の地大田市の活性化を考えるシンポジウム	16
天領の秘話②「壮烈、七人の武士」	20
会員の声	21
囲碁問題	21
ミニ税務コーナー	22
石見銀山・根ほり葉ほり	24
「人口定住対策に大久保石見守はこうした」	24
第十四回会員親睦ゴルフ大会開催	25
わが社のふれっしゅさん	26
税のアラカルト	28
囲碁問題正解と失敗	28
編集後記	28

仮屋行事のあれこれ

はりこの彩色面をずらりと並べ、正月の三日から五日にかけ、大田町の自治会ごとに行われる「仮屋」は、ユニークな風習として広く知られている。

仮屋に供える餅は、町の若い衆たちが、伊勢音頭で囃したてながら、棒杵でつきたて、この風景も新春らしい雰囲気である。仮屋では大火鉢で子どもたちが、スルメや餅を焼き、神官は仮屋を回って祝詞をあげる。

ところで大昔の仮屋の姿は、どうだったろうか。毎年、仮りのお社を造って、青竹を神木とし、祖霊を迎え、仮屋のまわりを歌ったり、踊ったりして祖霊とふれあいを深め、一年の幸を祈る神事だった。

長い歳月の間に、中国から伝わって来た陰陽道の歳徳神や、修験道の荒神さんや天狗さんの飾り面を祀る（並べる）風習に変化し、仮屋のかわりに、地域の集会所をあてるようになった。

祖霊信仰の変化は、歳月の遠さを感じさせます。 (石村禎久記)

年頭の辞

池石見大田法人会会長 奥野昌平



会員の皆様新年おめで
とうございます。

ご家族そろってお元気で
佳い年をお迎えになりましたことと心からお喜び
申し上げます。また昨年
は当法人会の運営につき
まして格別なるご支援・
ご協力を賜りましたこと
を有難く厚く御礼申し上
げますとともに今年も何
卒よろしくお願いいたし
ます。

さて、昨年の国内経済
はこれまで景気を支えて
きた主力エンジンである
個人消費と設備投資（経
済成長率に対する寄与度
は個人設備六〇％、消費
投資二〇％）が減速し、

これに代って補助エンジ
ンに相当する住宅建築、
公共事業、輸出（経済成
長率に対する寄与度夫々
五％、七％、八％）に支
えられ製造業から非製造
業へ、都市から地方へと
景気は急速に減退して参
りました。さらには、一
九八九年（平成元年）十
二月をピークとするバブ
ル経済の崩壊に伴い、株
価や地価等の資産価格が
低落し、都市部を中心に
企業、金融機関、個人に
相当なダメージを与えて
おり、このことが今迄の
不況時にはない大きな特
徴であります。そして株
価や地価の下落と景気の
低迷が相乗作用を及ぼし
合って景気の回復を遅ら
せる原因となっているこ
とも充分考えられます。
そこで今後の景気回復

の条件としては、主力エ
ンジンの故障（個人消費
と設備投資の減速）を如
何にして直すかというこ
とであります。そのため
に政府は、昨年十二月の
臨時国会において公共事
業費を二兆円追加し九二
年度の当該事業費を一〇
兆二千億円に増額すると
ともに、九三年度の公共
事業費の政府原案を九二
年度当初予算比四・八％
増の約八兆六千億円にす
るなど財政面から国内需
要を喚起し、場合によつ
ては、公定歩合の第六次
引下げも行ない、個人消
費、企業収益を回復させ、
設備投資を誘発、景気浮
揚をはかりたいというこ
とであります。

昨年末のボーナス支給額
の伸率が一九八五年（昭
和六十年）の円高不況時
の伸率に匹敵する低調な
伸びであったこと●本年
春の貸上げは昨年比約一
％下回る予測であること
●また九三年度の公共事
業費四・八％の伸びは九
二年度当初予算比であつ
て、補正後の一〇兆二千
億円に比較すると一五・
七％減であること●さら
には米国のクリントン新
大統領の対日政策により
輸出の伸びは大きくは期
待できないことも予想さ
れる等々の要因で、景況
の推移によつては、年度
中途において赤字国債に
よる公共事業費の追加・
所得税減税等の補正予算
が組まれるとともに、第
七次公定歩合の引下げも
あり得るとの見方もあり
ます。

の後遺症も加わって従来
とは異なり極めてゆるや
かであり、政府は九三年
度の実質経済成長率を三・
三％と決定したが、これ
は努力目標の色合いが濃
厚であり、民間エコノミ
ストの大部分は二％台を
予想しております。
そこで私達企業経営者
は今後少なくともここ二
～三年間は経済成長率が
従来の一五～一六％台から三
％台に落ち込むことを想定
し、外に対しては顧客本
位の経営に徹し、内にあ
つては地道な経営努力に
よつて固定費の削減と人
材の確保育成をはかり、
赤字企業に転落しないよ
う心掛けねばならないと
思います。
以上口幅つたいことを
申し上げましたが、最後
に会員の皆様のご健勝と
夫々の企業の益々のご発
展をお祈りし年頭の辞と
いたします。

納税功労者表彰式

平成四年度「税を知る週間」初日の十一月十一日、大田町会館「仁万屋」に於いて、本年度納税功労者に対する方々に、石見大田税務署長からの表彰と感謝状の贈呈式が開



催された。
当日、来賓に、出雲総務事務所長、大田市長、仁摩町長、温泉津町長始め石見大田税務署管内税務団体代表者など約五十名出席し、盛大に挙行さ

れた。

税務署石川総務課長の総合司会の開会のことばに続き、高田石見大田税務署長より、「納税功労者税務署長表彰」を嶋崎忠夫氏（株富士ドライ社長）、杉谷富美江氏（有みどりや専務）の両氏に贈呈

され、続いて「納税功労者税務署長感謝状」を、後長愛子氏（後長写真館）、板倉正明氏（温泉津町商工会経営指導員）の両氏に贈呈された。また、去る十一月五日、広島市広島グランドホテルにて開催された和田俊二氏（株大島屋商店社長）への「広島国税局長表彰」受彰も併せて披露された。

高田署長式辞のあと、出雲総務事務所所長多久



和俊男氏、一市二町を代表しての大田市収入役中田為人氏、大田商工会議所会頭波多野親氏、中国税理士会石見大田支部長中田信雄氏より心暖まる祝辞があった。受彰者を代表して嶋崎忠夫氏より謝辞があり、受彰者記念写真を撮影し、約一時間の表彰式が終了した。

祝賀会

同日、午後五時より室を変えて祝賀会が催された。石見大田納税貯蓄組合連合会会長伊藤章雄氏の司会で開宴のことばに

続き、温泉津町長宮原史郎氏の音頭で、恒例の地酒で乾盃し、祝宴となった。料理、酒を楽しみながら宴が進み、午後七時、仁摩町助役松浦宗千賀氏の発声で万才を三唱、賑やかな、そして和やかな内に、約二時間の懇親祝賀の宴の幕を閉じた。

受彰された五名の方々には心からお祝いを申し上げます。

広島国税局長表彰

和 田 俊 二 氏
(遼摩郡温泉津町)



- ・ 石見大田法人会副会長
- ・ 納税協力団体連絡協議会理事

税務署長表彰

嶋崎 忠夫氏
(大田市大田町)



- ・大田商工会議所副会頭
- ・(株)石見大田法人会副会長
- ・納税協力団体連絡協議会理事

杉谷 富美江氏
(大田市大田町)



- ・石見大田納税貯蓄組合連合会婦人部部长
- ・(株)石見大田法人会婦人部副部长

税務署長感謝状

後長 愛子氏
(大田市大田町)



- ・大田市青色申告会婦人部副部长

板倉 正明氏
(出雲市芦渡町)



- ・温泉津町商工会経営指導員
- ・納税協力団体連絡協議会幹事

納税功労者表彰式



前列左から、後長愛子氏、嶋崎忠夫氏、高田資生氏、杉谷富美江氏、板倉正明氏、後列左から、波多野親氏、宮原史郎氏、多和田俊男氏、中田為人氏、松浦宗千賀氏、中田信雄氏

税のこぼれ話

お社歌様

カラオケが趣味という人も少なくありません。中には、持ち歌を激唱し尽し、自社のCMソングや社歌まで熱唱する人も……。

こんな方が次回にその店を訪れると、「ハイ、お次はお社歌サマ〜」などといわれたり……。

さて、一般化したCMソング、社歌の製作費は税務上どのように？

著作権の取得？減価償却資産に？違います。

それなら、繰延資産？これもNOです。

実は、その支出した日の属する事業年度の損金に算入できるというのが法人税法上の取扱いです。

この際、カラオケのキヤリアを生かして、自社のCMソング創作に挑戦してはどうですか。

石見大田税務署人事異動

ごあいさつ



署長 高田 資生

新年あけまして

おめでと

ございます

今度の異動により、石見大田税務署長を拝命しました高田です。どうかよろしく願います。石見大田税務署管内は自然環境に恵まれ、また人情味豊かな地と聞いておりましたが、当地に勤務した今、そのことを肌身で感じて良い地に勤務できた幸を喜んでおります。

社団法人石見大田法入会は、昭和六十三年に社団化されてはや五期目を迎えておられることとなりますが、この間、会員の皆様には法人税等の適正な申告と期限内納税に努めてこられ、法人会活動を通じて税務行政に深い御理解と御協力を賜っていることに対し、厚く御礼申し上げます。当石見大田法人会につきましては、他署の法人会と比較しても遜色のない活動振りで、また皆様の誠実な対応と地域を愛する気質には心打たれる思いがしております。会の事業活動にも、税を広く理解して頂たく試みとして行った税を知る週間中のユニークな催事を一つの例として、奥野会長をはじめ役員の方々

そして事務局の皆様にも御尽力を頂戴していることをつくづく感じている次第です。

さて、時局は引続き調整過程にあり、山陰地方にもその波が浸透しはじめたとの情報が毎日のように流れております。

しかしこれを業種別に見てみますと、当署管内の主要産業であります瓦製造業及び建設業関連等は、好況あるいは堅調な動きであり、これを反映して管内の法人税の申告状況は、対前年同期比で一〇七パーセント(税額)と前年を上廻っている状況にあります。

勿論、全ての法人がこのような傾向ではないこと、むしろ政府には逆であるかも知れないとは承知していますが、地域、

業種、そして個々の法人の内情によってその度合は異っており、それだけに経営者の事業に対する姿勢、御努力が、大切であらうかと思われま

す。ここに「より良き経営者たらんと願う者の団体」である法人会、その会の活動の益するところがあ

るのではないかと思ひます。今、このような時機にあつて、私共税務行政に携わる者としては、税を取りまく環境をよく認識し適正公平な課税の実現を通じて、信頼される税務行政の確立に邁進する覚悟であり、また法人会の発展のために積極的にお力添えをしていく所存であります。

ところで、消費税は一応定着しており、また地価税もお陰をもちまして円滑な導入ができておるようでございます。

これも会員皆様の御理解と御支援の賜と深く感謝いたしております。

どうか地域社会の中で指導的立場におられます皆様方には、引き続き税務行政に御協力を賜りますようお願いいたします。

新しい年が石見大田法人会の御発展と会員皆様企業にとつてよい年であるよう、また会員皆様の御健勝を祈念して御挨拶いたします。



統括官 川上 真次



総務課長 石川 清孝

平成四年度

通常総会開催

平成四年度通常総会は去る、八月三十日大田町会館「仁万屋」において、会員多数のもとに開催された。

当日来賓には石見大田税務署高田署長を始め、大田商工会議所波多野会頭他多数をお迎えして盛會に開催された。

奥野会長の会員、役員に対して一年間の法人会事業活動の御協力に感謝の意を表すると共に、新年度につきましてもより以上の御指導、御協力をお願いいたします等々……の挨拶の後、議長となり議事に入っていた。

一号議案、平成三年度事業報告並びに収支決算承認の件。

二号議案、平成四年度



事業計画並びに収支予算承認の件。
以上の議案につき審議を行ない、一号議案、二号議案共満場一致で承認された。
当日の予算案。収支決算は下記の通りです。

平成3年度(第4期)収支決算書

自平成3年7月1日 至平成4年6月30日

平成4年度(第5期)収支予算書(案)

自平成4年7月1日 至平成5年6月30日

収入の部

科目	予算額	決算額	増減△
1. 会費	6,000,000	6,090,000	90,000
2. 事業費補助金	2,450,000	2,457,256	7,256
3. 事業収入	600,000	605,000	5,000
4. 手数料収入	852,000	1,035,628	183,628
5. 雑収入	280,000	503,724	223,724
当期収入合計(A)	10,182,000	10,691,608	509,608
前期繰越収支差額	5,487,739	5,487,739	0
収入合計(B)	15,669,739	16,179,347	509,608

収入の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減△
1. 会費	6,100,000	6,000,000	100,000
2. 事業費補助金	3,574,200	2,450,000	1,124,200
3. 事業収入	200,000	600,000	△ 400,000
4. 手数料収入	0	852,000	△ 852,000
5. 雑収入	425,800	280,000	145,800
当期収入合計(A)	10,300,000	10,182,000	118,000
前期繰越収支差額	5,791,061	5,487,739	303,322
収入合計(B)	16,091,061	15,669,739	421,322

支出の部

科目	予算額	決算額	増減△
1. 事業費	4,050,000	4,005,337	△ 44,663
研修・講習会等費	3,100,000	3,190,000	90,000
会報発行費	650,000	661,035	11,035
婦人部運営事業費	300,000	154,302	△ 145,698
2. 会議費	1,700,000	1,865,493	165,493
総会費	700,000	710,538	10,538
役員会費	400,000	490,227	90,227
委員会費	600,000	664,728	64,728
3. 管理費	3,255,000	3,217,456	△ 37,544
人件費	2,040,000	2,040,000	0
事務局費	350,000	317,881	△ 32,119
渉外費	100,000	154,753	54,753
旅費	150,000	89,901	△ 60,099
負担金	600,000	600,500	500
雑費	15,000	14,421	△ 579
4. 積立金	1,300,000	1,300,000	0
記念行事金	300,000	300,000	0
運営積立金	1,000,000	1,000,000	0
5. 予備費	5,364,739	0	△ 5,364,739
当期支出合計(C)	15,669,739	10,388,286	△ 5,281,453
当期収支差額(A)-(C)	△ 5,487,739	303,322	△ 5,791,061
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	5,791,061	5,791,061

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減△
1. 事業費	4,100,000	4,050,000	50,000
研修・講習会等費	3,100,000	3,100,000	0
会報発行費	700,000	650,000	50,000
婦人部運営事業費	300,000	300,000	0
2. 会議費	1,700,000	1,700,000	0
総会費	700,000	700,000	0
役員会費	500,000	400,000	100,000
委員会費	500,000	600,000	△ 100,000
3. 管理費	3,365,000	3,255,000	110,000
人件費	2,100,000	2,040,000	60,000
事務局費	350,000	350,000	0
渉外費	150,000	100,000	50,000
旅費	150,000	150,000	0
負担金	600,000	600,000	0
雑費	15,000	15,000	0
4. 積立金	1,300,000	1,300,000	0
記念行事金	300,000	300,000	0
運営積立金	1,000,000	1,000,000	0
5. 予備費	5,626,061	5,364,739	261,322
当期支出合計(C)	16,091,061	15,669,739	421,322
当期収支差額(A)-(C)	△ 5,791,061	△ 5,487,739	△ 303,322
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0

中国地方法人會連合會長との対談

出席者 広島国税局長 志田康雄氏
中国地方法人會連合會會長 篠原康次郎氏



篠原康次郎氏

【司會】今年も「税を知る週間」が十一月十一日から始まるわけですが、初めに局長からこの週間についてのお話をいただきたいと思えます。

【局長】この「税を知る週間」は、昭和二十九年に「きがねのない税務署運動と納税者の声を聞く月間」として誕生し、納税者の方々をはじめ広く国民の皆様方に「税」をよく御理解していただく

ために行っているものですが、昭和四十九年に現在の「税を知る週間」という名称に変えて十九年目になります。

申告納税制度の一層の定着を図っていくためには、税の主人公である納税者の方のみならず、広く国民各層が税を身近なものとして考え、税の意義や役割を正しく認識していただく必要があります。

そのため、本年も十一月十一日から全国的な統一行事として「暮らしを支える税—この社会あなただけの税がいきている」をテーマに掲げて、税の様々な使いみちを知っていただくために、各種の行事を予定しています。

是非、この週間に税の意義や役割について御認識を深めていただければ幸いです。

【會長】局長がお話しされましたように、税の意義や役割を正しく認識することは非常に大切なことと思えます。

私も法人会におきまして、申告納税制度の定着を目指し、会員の税知識の普及を通じて、納税道義の高揚を図るために各種の事業活動を行っておりますが、この週間に催される行事を機に、より一層充実した活動を進めたいと思えます。

【司會】それでは局長から財政・税制改革についてお話を伺いたいと思えます。

【局長】我が国の財政は、平成四年度末の公債残高が百七十四兆円にも達すると見込まれるなど、依然として厳しい状況下にあるため、引き続き行財政改革が推し進められていくところであります。

最近では、消費税や地価税などの導入をはじめとする税制改革、これを踏まえた国税組織の改革が行われました。なかでも、平成元年四月に導入された消費税につきましては、申告・納税ともに順調に行われております。

また、本年一月から導入された地価税につきましても、本年十一月に最初の申告と納税を迎えますが、私も税務行政に携わる者としていたしまして、今後とも納税者の方々が自ら適正な申告と納税をしていただけますように、広報・相談及び指導体制の整備など、きめ細かな施策を実施していくこととしております。

税に対する国民の皆様方の関心は、かつてないほど高まってきており、適正・公平な課税の実現が一段と強く要請されて

広島国税局長と



志田康雄氏

おります。

私どもといたしましては、適正・公平な課税の実現と信頼される税務行政の確立に一層努めるよう決意を新たにしているところであります。

引き続き法人会の皆様方の御理解と御協力を賜りたいと願っております。
【司会】 それでは次に、篠原会長から法人会の現状についてお話を伺いたいと思います。

【会長】 中国地方法人会

連合会（中法連）では、平成三年から平成四年九月にかけて、山口、島根、広島及び岡山の各県法人会連合会がそれぞれ社団化したしました。

これで、中国五県の連合会がすべて社団化し、中法連の長年の願いが達成された意義の深い年になりました。

現在、法人会員は全国で約百二十三万社で、「健全な納税者の団体である」と同時に良き経営者の団

体」であるとの基本理念を活動の指針として、活発な事業活動を展開しているところでは、

平成四年六月末現在の中国五県の法人会員は、約七万四千社で、加入割合は五十八%であります。前年同期と比べ約四千社の会員が増加しております。

また、昭和五十五年から続けてきたモデル法人会研究発表会が本年の発表で最後となりました。

この間、四十八の法人会が、会の財政基盤の確立と会活動の強化充実に向けて、研究発表を重ねてまいりましたが、各単位会においては、この発表が非常に参考になったものと確信しています。本年からこの研究発表会がなくなりませんが、今後も各単位会が意見を交換しあつて、法人会が一層発展するようレベルア

ップを図っていきたいと考えています。

【局長】 ただいま、会長から法人会の活動状況などについてお話を伺いし、大変心強く感じております。

【司会】 それでは、法人会の今後の活動方針等について会長からお話願います。

【会長】 法人会の今後の活動としては、まず第一に、法人会の永遠の課題であります会員の増強を図ることです。これは、財政基盤を確立すると同時に法人会活動をより活性化して、一層魅力のある法人会とするために最も重要なことであると考えています。

第二には、研修参加者倍増運動の推進です。この研修活動を充実、活性化させることによつて、会員の研さんに資するとともに、会活動への参加

意識の高揚を図っていくことが大切であると考えています。

引き続き税務御当局の御指導、御支援をお願いいたします。

【局長】 会員の増強につきましては、私どもできる限りの支援を行つてまいりたいと考えておりますし、研修活動の充実につきましても同様に考えております。

【法人会】 入つて良かった。」という会員が増えますよう、名実ともに法人会の発展と充実に期待しております。

【会長】 お話のとおり、「良き経営者の団体」として、魅力ある活力に満ちた事業活動を通じて、法人会の大きな目標である納税道義の高揚を図つていきたいと考えています。

【司会】 本日は、どうもありがとうございました。

質問帖

【質問】当社は、創立十周年記念に際し、従業員に対して社内で記念パーティーを催すこととしましたが、この費用は交際費となりますか。

又、これとは別に、社外の関係者を招待することとしていますが、この招待に要する費用はどうなりますか。

【回答】通常交際費として処理する費用としては、業務の遂行上生じた費用のうち、交際接待に要した費用、慶弔禍福に要した費用等が考えられますが、その内容については必ずしも明らかではありません。

〔税法の考え方〕

税法は、法人の業務上

生じた費用のうち、「交際費等」を抜き出し、所得金額の計算上、損金の額に算入しないとしています。つまり、「交際費等」に該当する一切の費用を経費として認めていないのです。

但し、その事業年度終了の日における資本又は出資の金額が五千万円以下である法人については、その資本等の金額に同じ一定の金額までを損金の額に算入することを認めています。

(1) 期末資本金額等が、一千万円以下の法人
年四百万円
(2) 期末資本金額等が、一千万円を超え、五千万円以下の法人
年三百万円

税法がこのように定められている以上、簿記会計におけるように、単にその費用をどの勘定科目に分類するかの問題とは異なる

り、この特別の取扱いが適用される「交際費等」の範囲を明らかにする必要があるとあります。

〔交際費等とは？〕

租税特別措置法第六十二條第三項において、「交際費等とは、交際費、接待費、機密費その他の費用で、法人がその得意先、仕入先その他事業に関係する者等に対する接待、供応、慰安、贈答その他これらに類する行為のため支出するものをいう」としてあります。

この規定を基として、交際費等に該当するかどうかの判定要件としては、次の三要件によるのがもっとも妥当であるとされています。

(1) 「支出の相手方」が事業に関係のある者等であること。
(2) 「支出の目的」が事業関係者等との間の親睦

度を密にして取引関係の円滑な進行を図ることにあること。

(3) 「支出の基因となる行為の様態」が、接待、供応、慰安、贈答その他これらに類するものであること。

〔隣接費用との区分〕

しかし、形式的にはこれらに該当する費用であっても損金不算入の対象から除かれる費用もあり、又交際費等以外の科目に分類したものが交際費等に認定されることもあり、実務上の区分において、その境界が必ずしも明らかでない場合があります。このような隣接する費用としては、例えば

- ① 寄付金
- ② 諸会費
- ③ 広告宣伝費
- ④ 福利厚生費
- ⑤ 旅費交通費
- ⑥ 給与

等が考えられます。「交際費等」に含まれる「その他事業に関係ある者等」には、その会社の使用人、役員も含まれる為、慶弔規程、旅費規程、給与規程、取締役会議事録等は整備しておくべきでしょう。

ご質問のような創立記念式典等に際し、使用人やその役員におおむね一律に社内において供与される費用は、それが社会通念上通常要する程度のものであれば福利厚生費として交際費等とはなりません。しかし主として社外の関係者を招待した場合には、その全体の宴會費はもちろん、その招待の為の交通費、記念品代についても、招待の目的が接待、供応にあるので、一連の費用として、交際費等に含まれることとなります。

(竹下税理士)

毎年十一月十一日から十七日までの一週間にわたり「税を知る週間」が全国一斉に実施されるなか、石見大田法人会がその主行事のひとつとして企画、実施してきた「クイズおもしろ税ミナール」は、早いもので今年で第六回をむかえ、週間の最終日十七日、会館仁万屋において開催されました。

今年も大田市、邇摩郡の職場、団体、組合から一チーム三名の編成で十六チーム、総勢四十八名の解答者の皆さんと応援団、主催者側スタッフ、あわせて百余名の会場は熱気でいっぱいでした。

クイズ開始を直前にした解答者の表情を紹介すると、今年こそと余裕と自信に満ちた顔の経験組があれば、嫌いや無理矢理勧められて困り顔も見られ、おおかたは何とかなるさ顔、出たとこ勝負

の顔、ひらき直ったあつさり顔など種々様々。かたや審査員席を紹介すると、初回から連続登板の、辛口評論と愛情評価の中田信雄石見大田税

第6回 クイズ おもしろ税ミナール開催

税金博士に浅野浩司さん
団体優勝は地元清酒生産チーム

理士会長以外はすべて新しい審査の皆様で、審査員長として、この度着任されたばかりの温厚やさしさあふれる高田資生石見大田税務署長をはじめ、

どがぞやるだにと自信の見える中田為人大田市収入役、極めどころは極めまずの小谷昌三会議所事務局長、嘗ある第五回税金博士の石井文子さん、どうぞよろしくというミス天領クイーンの西原真子さんの初顔ぶれ。

クイズは、第一回戦は全問択一の五問。司会者の誘導もよろしく、全問正確者が十名も出現、山陰合同銀行、大島屋商店チームが優位リードしました。第二回戦は三問中に記述問題があり、この問題の成果が雌雄を決する大場といえるが、三十九点満点の二十九点という立派な解答者が出たのは今回が初めてで、税ミナールの効果と定着がうかがわれた。

熱戦の中、順位の変転がたびたび見られたが、会場は終始なごやかな雰囲気につつまれ、約三時



間を楽しんだ。

期せずして、コウジトリオが上位を占め、団体優勝をも獲得しました。結果は次の通り。

個人の部

優勝 浅野浩司さん

(第六回税金博士)

準優勝 大谷晃司さん

第三位 木村幸司さん

団体の部

優勝 地元清酒生産

準優勝 山陰合同銀行

第三位 島根中央信用金庫

第四位 (株)大島屋商店

第四位 温泉津商工会

第六位 さんのあレディ

ース

第七位 大田商工会議所

婦人会

第八位 料飲組合

第九位 中央商店会

第九位 大田市役所

第十位 大田町婦人会

第十位 仁摩町商工会青年部

第十位 大田商工会議所青年部

第十位 橋南商業開発

第十位 本通り商店会

第十位 東和建設工業(株)



和 田 俊 二 氏 広島国税局長表彰受章祝賀会

去る十二月八日、大田町「会館仁万屋」において、和田俊二（法人会副会長）氏の広島国税局長表彰受章祝賀会が行なわれた。

和田俊二氏は、昭和五十一年法人会の副会長に就任以来、多年にわたり会員の指導育成及び税知識の普及に努めるとともに組織の拡充強化に取り組み、昭和五十八年には、県下では初めての法人会婦人部の創立に尽力された。その間会の事業活動を積極的に推進するなど法人会活動を通じて、税務行政の円滑化と納税道義の高揚に尽くされた。又、法人会を社団化するため積極的に活動され、昭和六十三年の社団法人の設立に寄与された。さらに石見大田税務署管内納税協力団体連絡協議会理事として納税思想の高揚に尽力された功績等に

より去る十一月五日広島国税局長表彰の受章の栄に欲された。

当日は、ご来賓として高田石見大田税務署長、波多野大田商工会議所会頭をはじめとして、各団



体長の方々のご臨席のもと、関係者総勢八十名が出席して、厳粛且つ盛大に挙行された。

鳴崎副会長の開会のことばに始まり、主催者を代表して奥野会長が和田

俊二氏は、今日まで十六年間の永きに亘り会員の指導育成、税知識の拡充強化に取り組まれた功績に対して敬意を表され又今回の受章の陰には奥様の永年の内助の功の賜と思えます等とのご挨拶、つづいて、高田石見大田税務署長・波多野大田商工会議所会頭・中田税理士会石見大田支部長各位のご祝辞を頂いた後、受章者の和田俊二氏が、お礼のことばを述べられた。

和田俊二氏 お礼のことば

謹んで一言お礼を申し上げます。

この度は、図らずも広島国税局長より法人会活動の一環として申告納税制度の普及発展につとめ、納税思想の向上に就いて功績があつたと認められ、国税局長表彰という大変な栄誉を戴きまして、誠に恐縮にたえない次第で

あります。これもひとえに本日ご列席の皆様方の心温まるご指導、ご支援の賜と深く感謝申し上げます。衷心より厚くお礼申し上げますとともに、本日はこのような盛大な祝賀会を催していただき身に余るお言葉、祝電、お祝いを頂戴し重ねてお礼を申し上げます。

今後共、この栄誉に恥じないよう家内共々又、社員一同益々精進する決意でございますので、この上とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

祝賀会

祝賀会では、まず最初に中国税理士会相談役の渡辺常弘先生の乾杯のご発声のもと祝宴に入つていった。アトラクション



では、最初に藤間流名取財閥春枝さんにより祝舞、引き続き、刺鹿社中による鯛つり。最後は商工会議所婦人部による、あゆみ太鼓で祝宴は最高に盛り上がりを見た、杯を重ねる内に、東部青申会長の山尾悦巳氏がお祝を詩に唄った相撲甚句の披露、カラオケへと移り最後は、和田俊二ご本人が自慢の喉を披露されるうちに閉会の時間が近づき、清水青申会長の一本締で祝賀会を終了した。

当日ご来賓としてご臨席の方々の、お祝辞の要旨を記載いたします。

***高田石見大田税務署長**
和田氏は石東地区の産業経済の発展のための税の良き経営者たらんとする集いである法人会に早くから加入され、その意義を十分認識され法人会副会長として十六年の永きに亘り会の発展、充実に努めてこられました。この間法人会の婦人部の創設に尽力され、法人会の社団化に貢献、その指導力、行動力は会の育成発展に大きな功績がありました。今回の局長表彰受章者は中国五県で二〇名の方々が受章され、和田氏はその中の一人で石見大田税務署といたしましても誇りとしてるところでございます。

税務行政に携わる者として、和田氏を始め多くの税の理解者、良き協力者のおられることは誠に心強いものがあり、今後共全納税者のリーダーとして納税道義の高揚と適正な申告の啓蒙に多大な御理解と御協力を賜りますようお願い致し、和田俊二殿及び会員並びに御臨席の皆様方の今後ますますの御健勝と法人会の御発展を祈念してお祝いの言葉といたします。

***波多野大田商工会議所 会頭**
本日は、和田俊二氏の広島国税局長表彰の祝賀会が開催され、この様に多数の方々がお集りになつてお祝い出来ます事は和田副会長さんの日頃の交流のお人柄によるものと深く敬意を表しますと共に、ご受章心からおよろこび申し上げます。

昭和五十一年以来永年に亘り税務行政に尽されたご功績が認められた結果で吾々有縁の者同様のよろこびとするものであります。バブル崩壊後の我国経済は大巾な落ち込

みを見せ復興に努力されておりますが、歳入の大巾な不足を償うために新税の導入も考えねばなりません。

余談ではありますが、先日建設省松江事務所長さんが来られて新しい道路五ヶ年計画は七十二兆円が必要とされ、今の計画を四十三%上廻る画期的なもので、その財源はガソリンと軽油の税率を改め、いわゆる目的税の増収によつて達成されるので協力して欲しいとの要請を受けました。国際情勢も愈々混沌としている現在、徴税による安定した経済の手法も止むを得ないと考えております。

この様な時、県央地域の経済会をリードされる立場にある和田社長さんには、一層健康に留意され税務行政の推進と本業とされる(株)大島屋商店の繁栄にご精進下さるよう

お祈りしてお祝のご挨拶といたします。

***中田税理士会長**
去る十一月五日広島グランドホテルにおいて、広島国税局長による納税功労者表彰式が挙行されました、和田副会長が選ばれてこの栄誉ある表彰をお受けになり心からお喜び申し上げます。和田副会長は、昭和五十一年以来今日まで数多くの業績を残され、このことは和田様的人格高邁にして十年一日の如きご努力があればこそと改めて満腔の賛辞を捧げたいと思っております。国がある限り税はなくてはなりません、我々税理士もこの税を通じて皆様方と共に歩んで参りたいと思っております。

今後共深いご理解とご協力をお願いすると共に、本日も列席の皆様のご健勝とご発展を祈念して祝辞といたします。



専門の飲料部門を創設、
今日に至っています。

菓子卸業の今後

平成四年八月弊社菓子卸部は、東京の広域菓子卸サンエスと業務提携を結びました。同社とはかねてよりコンピューター

の導入等でご指導いただいておりますが、今後は豊富なその情報力を提供していただいで、営業活動をバックアップしていただくつもりです。

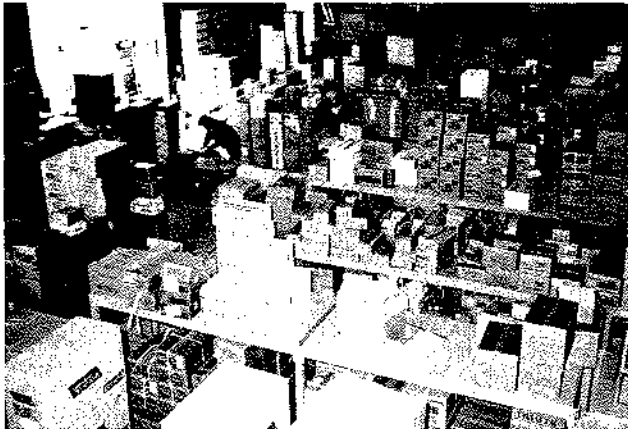
その手始めとして、平成四年一月倉庫にラックを導入、商品置き場に番地を付けて管理を始めました。さらに八月にはコンピューターを

バージョン・アップして、新在庫管理システムを開始しました。

かつて地方に数多くあった菓子製造業者の多くがNBにとつて変わられたように、小売業の業態の変遷が卸のあるべき姿を大きく変えつつあります。必要な商品を品切れさせること無く

迅速にお届けする、この基本は変わりませんが、EOS等方法はぜひぶんと変わっていくと思われ

ます。
現在県内の六、七割は、スーパーやコンビニで占められているのが実態であり従来の販売形態では売り上げが伸びなくなってきたのでこの現状



を打破する為に、サンエスと業務提携することで大手スーパーへの販売の糸口を探るとともに、コンピューターでの商品管理、粗利管理など大手菓子問屋の経営ノウハウを

学び又、ただ単に卸売業にとどまらず、ディスプレイや商品構成などサンエスから得たノウハウを



基に提案型企業を目指し三年後には二十億円の売上げを目指しています。

今後卸業におきましても情報化時代へと突入していく事は必至の時代でございます。我々菓子卸売業においても、コンピューターを駆使した情報武装型卸業をめざし、日夜努力邁進致している所でございます。

又、地域社会におきましても、民間経済力活性化を図るための一企業として貢献すべく専心努力を致す所存でございます。

今後幾多の困難が予想されますが地方企業の誇りをもって頑張つて参りたいと思っておりますので皆様方のご協力、ご支援のほどよろしく御願ひ申し上げます。

全国法人会総連合 会員大会

……山梨県甲府市にて開催……

去る十月十五日、第十回全国法人会総連合会員大会が山梨県甲府市に於て開催された。石見大田法人会からは、和田副会長を始め四名の方が参加した。

十四日の夕方出雲号にて一路東京へ出発、車中では、持ちこんだ「むすび」「おすし」を広げ、途中では車内販売のビールを購入して、さながら車中宴会のごとく旅の空を満喫した。翌朝七時には東京駅のプラットホーム、午後から始まる総会に出席する緊張感も、中央本線に乗り、甲府市が近づ

くにつれ、車窓から見る山々の紅葉にほっと心を洗われ、前日からの汽車の旅もあつという間に終った感じがした。

午後一時、山梨県立県民文化ホールに到着、受付にて出席の手続きを済ませ、ホールのロビーいっぱいにあふれる全国各地からの参加者の多さに驚きながら、一時四十分には会場大ホールに入場する。島根県は一階右側に設けられた会員席に着席する。間もなく舞台中央では、オープニングセレモニーの山梨県を紹介するビデオの上映、引き続き全法

連服部副会長の開会の辞により第一部会員大会が始まった。主催者の挨拶、開催地県連挨拶と続き、表彰状の贈呈へと移り、当石見大田法人会も研修参加者倍増運動で表彰の栄に欲した。さらに大会宣言が行なわれ第一部が終了した。

第二部は、記念講演、「ゆれ動く内外情勢とこれからの政治」と題して「白鷗大学教授福岡政行氏の講演、午後六時三十分からは、会場を甲府富士屋ホテルに移しての懇親会へと入っていった。

大会宣言

われわれ法人会は、納税意識の向上に寄与すると共に「よき経営者の団体」として企業経営と社会の健全な発展に貢献してきたが、今や、全国すべ

ての法人会が公益法人としての社団化を達成し、会員数も百二十万社を超える揺るぎなき組織に成長した。

この誇りと責任を踏まえ、数次にわたる税制の抜本改革に対しては、公正、且つ建設的な提言を行うとともに、積極的にその実現に努めてきたが、今年には更に「二十一世紀に対応できる税制の確立」

を要望した。そして、我々はよき経営者としての自覚と研鑽に資するため、昨年末、全国的に「研修参加者倍増運動」を展開し、大きな成果を挙げつつある。

世界は今、新しい秩序による共存体制の確立と地球環境の保全に向けて、厳しく長い努力の時代に切り変わるうとしている。このときに当たり、わが国は、国際社会への貢献と急速に進展する高齢化社会への対応という重要な課題を抱え、かつ政治・経済構造に対する信頼の回復もまた急務である。

われわれ法人会は、政府・与野党に対し、長期的かつグローバルな視点に立ったビジョンの確立と、懸案の早期解決を強く要請するものである。ここに、百二十万社会員企業の決意を表明して右宣言する。



税を知る週間行事

自 11月11日～至 11月17日

—— 地区別ミニ税金フォーラム ——

第四回目を迎えた地区別ミニ税金フォーラムが税を知る週間の十一月十二日西部地区。十六日東部地区の両会場で開催された。

このフォーラムは、会員が参加しやすいように都合の良い日に参加していただけるように、又、地元の会員はより参加しやすいようにする為、両会場で毎年行っており、最近では、クイズ形式を取り入れ、気軽に雰囲気で行進が図られ、以前より活発な意見交換が見られるようになった。又優勝者、二位、三位の方々にはそれぞれ賞品が贈られるなど、大変盛り上がり参加者からは大変好評であった。

当日の概要を紹介させていただきますと、まず開会に当り、奥野会長代理（カゼの為欠席）中田税理士会長が、出席会員に日頃



の法人会活動への協力に對してのお礼と、納税道義の高揚を図る本日の会が気軽な会であって欲しい等々の挨拶、続いて高田税務署長さんより、十一月十一日から十七日までの一週間は、税を知る週間である一環として実施されます地区別ミニ税金フォーラムを通じて税を少しでも御理解していただきたい等のご挨拶、

税制改正の説明では、上坪上席より消費税改正のポイントについて説明引き続き「明るい未来」と題したビデオを上映し、我々の税がいかに有効に使われているかがわかった。

そしていよいよ、フォーラムに入っていく、司会の松井義夫（法人会理事）氏が読み上げる設問を参加者全員が、正しいと思う答えのナンバーを表示していく方法で問題を出していった。参加者の中には、解答のわからない方もあり、隣りの人と相談をしながらナンバーを表示する等々。

又、問題の解答は、税務署だけでなく税理士先生も解答されるなど又、関連質問も積極的に出て質疑も活発になるなど、大変有意義な時間でした。最後には、両会場共、女性が優勝され、税務と



いうかたぐるしい感じの中で、さわやかな一面も見る事が出来た。

引き続き懇親会に移り年一回の懇親会でもあり酒を飲み交しながら、今日の設問に関連した話題に話しも弾むうちに酒の酔も手伝っていいよカラオケに移っていった。

日頃練習しておられるのか皆それぞれ持唄を披露、いかにも歌手になったような気分であつた内にも時間も夜の八時となり散会した。

の中にありました天童市のことですが、天童市に限らず山形県は米どころでなかったために、戦前は東北の中でも貧しい県でした。ところが戦後の産業構造の変化にあわせたのが、山形県だったんですね。早くから工業団地をつくって工業誘致をしたんです。そうしますと、やがて地場産業も育ってくるんですね。

この時代の変化に乗り遅れたのが、この大田であり、島根県であったわけですね。

それではこれからどういう動きがあるかと言いますと、四点言わせていただきますが、まず今後二十十年頃から、日本の人口は減って来ますから、ますます過疎が進むということが一番目にあります。

それから若者の高学歴化がますます進むことに

よって、仕事の多様化が進み、多くの仕事を擁している都市が有利になってきます。

三番目に、余暇が増えるということ。それによつて余暇需要、リゾート需要、レクリエーション需要が増えることにつながります。この対応は日本ではまだまだ出来ておりませんので、地方が有利ということになります。

四番目にはですね、これは大きな変化が出ていますが、大量生産の工業が国際的には通用しなくなり、多種少量の、手作りなどの感性産業が盛んになると思われますので、私の感じでは、これは地方にも有利になるかなあと感じております。

こういった大きな時代の動きがあるのですから、要は「やるべき」があるかないかだと思います。昭和二十年代三十年代に動

いた山形と動かなかつた島根とは三十年後には大きな差がついたといえます。当時島根は農林水産業でかなりやれたので、なかなか手を出さなかつたと思いますが、やはり時代の大きな変わり目には、何らかの動きをしなさいといけない時期になっていると思えます。

それで今後は何かと申しますと、私は「都市の時代」だと思っております。それには人口規模の大きい小さいではなく、都市としての三つの要素が必要だと思えます。ひとつは「人づくり」の要素。

二つ目は「産業づくり職場づくり」がなくてはだめ。

三つ目は若者に魅力のある「まちづくり」です。この三つは関連しています。企業を誘致しようにも、そこで働く人が「い

ない」ということが現実にあるわけですから、まずは人づくりが先決ではないでしょうか。交通の便の議論が出ますが、むしろ人材問題の方が重要ではないでしょうか。技術者がいるかどうか、高度技術者が入れれば地場産業もよくなります。

まちづくりについていえば、若者のにぎわいの場、コミュニティの場に、商店街がなるべきだと思えます。

この「人づくり」と「職場づくり」と「まちづくり」、これを三位一体にした計画をつくつていまして、少々小さい都市でも人口は減りません。このヴィジョンをしっかりとだしていくべきです。

平塚教授

大田市は農村都市だと思えます。人口の三十七%が農家人口なんです。しかも人口集中地域外に

八割の人が住んでいるということ、正に農村都市だといえます。

そういうことで、大田市の活性化を考えるということになりますと、工業・商業その他の二次三次産業の振興も重要ですが、やはり農業、農村の活性化ということが大田市の活性化の非常に重要なポイントになると考えられます。そこで農業の現状と将来ということを考えてみますと、現在の農業は逆風の真中にあると言えますが、長い目でみるとこのままではないと私は考えています。二十一世紀の人類の課題「食糧問題」「資源エネルギー問題」「環境問題」を考えますと、食糧供給産業としての農業、様々な公益的機能を持つ産業としての農業あるいは農村というものが二十一世紀には見直されるのではな

いかと思います。ですから来世紀は農業、農村にとって逆風から追い風に変われ時代であると、マクロ的にはいえるのではないかと思います。いささか楽観的すぎると批判されるかもしれませんが、そういう展望と希望とを持って農業、農村問題を考えて見る必要があるでしょう。そこで大田市の農業ですが、米については、今日発表されました高橋さんのシステムを、現状に合わせて考え、集落営農あるいは集落農場システムを考えたらどうかと提案します。肉牛については講演にありましたが、ように、繁殖中心で、付加価値を高めるチャンスを見ずから逃してしまっているから、加工や小売、ステーキハウスといった農業を中心とした二次三次産業化を図って

新しい地域の創造産業をつくる、地元での付加価値を考えなければなりません。さらには農家同志のコミュニケーション組織をつくったかどうかと考えます。酪農に関しては団地化を図り、ヘルパー制度を確立して、休日確保するといった、就業条件の改善に、相当てこ入れしていく必要があります。

野菜についてですが、新鮮で安全な国産野菜は今後価格が向上していくと思います。野菜はご承知のとおり、労働集約型農業です。大田市は元気な高齢者が多く、女性の多いところですから、生産に対応しやすいと思います。これもグループ化、団地化して、孤独でなく仲間が楽しくやりながら、新鮮で安全なものをつくっていく方向で、大田市の農業を考えていったら

どうでしょうか。

中村社長

特に現在大田市の高齢化と人口の減少化の状況を見ますに、楽なことばかりではないと思います。私は逆にこういう時こそ楽観的に物を考えて



います。大田市について皆さんいろいろ不満があると思いますが、今こそみんながチームワークを持って努力していくことが大田市にとって大切なことだと思います。今すぐには無理かもしれませんが、必ず光は射してく

るものと信じています。

私自身二十六歳の時に

大田に帰ってきてきて今四十歳になりました。これから地域にどういった貢献ができるかと考えまして、今の子供たちに何かプレゼントしようということ、私たちのやったことで、世界の子どもたちの絵画を二百点以上もシルバードの起点である大森町に集めることができました。こういうことをすることによって、次の世代に大田市の良さを、世界を念頭におきながら、紹介していく必要があるのではないかと思います。私たちが踏ん張ることを、子供達も見てくれると思います。

上田(司会)

ありがとうございます。

皆さん何か補足がござりますか。豊田局長さん？

豊田局長

青少年に、良い思い出のあるまちづくり、地域づくりというのがこれからの原点ではないかと思えます。若い人達が都会へ出るというのはやむを得ないことでしょうか。学校がないですからね。ですから一度出たその人たちがもう一度まちに帰ってこられるかどうか、帰ってくるつもりがあるかどうか。そのためには良い思い出が必要です。それから二番目には、先程から皆さんおっしゃっている、将来に対する見通しをはっきりさせなければならぬということですが、建設省といたしましても、良い思い出をつくるためのお手伝いもやってまいります。これはひとりひとり、場所々々によって違いますから、あまた違うだと私からいいません

が、いろいろなメニュー
がありますので、ああし
たいこうしたいといった
ご相談を、ぜひ各出先で
具体的にしていただけま
したら、いろんなお手伝
いができるのではないか
と、思います。以上。

上田(司会)

ありがとうございます
。それでは本田局長さ
ん。

本田局長

観光の問題ですが、こ
れはできるだけ外から見
ることが必要です。鳥根
の観光というのは、みな
自分の町の宣伝のことに
かかえていないようです。
東京の人にとってひとつ
ふたつのためではなく大
きな全体の行程を考えて
くるわけですから、例え
ば石見空港で入って出雲
空港で帰る、あるいは出
雲空港で入ってから石見
空港で帰るといった、こ
の長い海岸線をつないで

欲しいと思うわけですね。
三瓶山があるし、石見銀
山がある。それからサン
ドミュージアムもあるし、
温泉津温泉を経て浜田に
いけば鮮魚センターもあ
る。まだまだあると思
いますね。これはつくって
いくよりしょうがないで
す。ですから鳥根には五
十九市町村あるわけです
から、それぞれがまず一
つずつつくれば、東京、
大阪の者も一回きりでは
なく、たつぷりと、今回
は三つ。次回は四つとい
うかたちで来られると思
うんです。それから観る
ものだけではなく、食べ
物だとかお土産品とかい
った、農林漁業の振興等
々あらゆるものが観光に
絡む訳ですね。そういう
意味で総合産業です。先
程私は商工業の話をしま
したが、それと並んで観
光業は大きい柱ではない
かと思えます。

上田(司会)
それでは平塚先生どう
ぞ。
平塚教授

先程、農業の将来展望
について申し上げました
が、もうひとつつけ加え
ておきますと、農業とい
う産業、職業は、今後十
年十五年でいぶん変わ
るだろうと思えます。こ
れを一口にいいますと、
今後は技術集約的、知識
集約的、情報集約的な産
業であり、職業に変貌し
ていくということですよ。
とかく従来は、農業って
いうのは、昔から父親が
やっているのをそのまま
引き継いでやっていけば
できる。農家の長男だけ
から農業をやるといもの
でしたが、これが技術集
約的、知識集約的、情報
集約的職業ということに
なると、かなり高度な能
力を要求されます。普通
のサラリーマンになるよ

りは一人前の農業経営者
になる方がずいぶん難し
い時代になってきます。
逆にそれだけ農業の分野
というものが、ハイテク化
してくる訳です。先端技
術化といえますか。とい
うことは、いろんなビジ
ネスチャンスがでてくる
ということを認識しない
といけません。農業以外
の企業がずいぶん進出し
てきています。それはす
なわち農業が、将来展望
のある、二十一世紀型の
産業分野であるというこ
とです。だから、大いに
有能な方が農業に参入で
きるような受け皿づくり
が、行政やJAの課題に
なるとみえています。

また、儲からないとか、
どうしようもないとかい
ったことではなくて、い
ろいろなチャンスは足元
にあります。それを見つ
けて実現していくために、
集落にリーダーのいない

現状を考えますと、普及
所とか、市、JAの外部
リーダーの方たちが集落
にもう少し働きかけて刺
激を与えて、活性化のテ
ィブルを準備して、集落
の人が集まるような仕掛
けづくりをしたなかで、
内部のリーダーがおのず
から出てくるようにして、
集落農業、集落営農を盛
んにし、地域社会の活性
化、地域農業の活性化の
出発点としていただきたい
い。

上田(司会)

中村さんどうぞ。
中村社長
簡単に二つほど。
まず「自分ができるこ
と」から、とにかく始め
るのが大事だということ。
それともう一点。文化的
なものを大切に考えて欲
しい。

上田(司会)

今日は、ありがとうございます
。ありがとうございました。

壮烈、七人の武士

石村 禎久

温泉津の七騎坂は、野口雨情のつくった温泉津小唄の一節に

昔懐かしあの七騎坂

幾度涙で越えたやら

とうたわれている。

永祿のむかし、毛利元就の家臣の渡辺太郎左衛門通という一本気な武将が、同志六人と共に、元就の身代わりになつて討ち死にした場所である。

いまは故人となられた小林造船所の社長、小林善作さんの案内で、三十年余り前に、七騎坂を訪ねたことがあるが、私の知人が「邇摩郡と石見银山」という小誌の出版をする考えで、原稿を頼まれた。その中で七騎坂も

いが、戦国の雰圍気が臉に浮んでくる荒々しい風景である。

山吹城の攻防

永祿二年（一五五九）

七月七日、毛利元就は一萬四千騎の大軍をひきいて、石見銀山の要衝、山吹城を攻めた。元就にとつて、戦力源としての石見銀山は、どうしてもほしい宝の山だった。

元就は山吹山（四一六畝）と向いあわせの仙の山（五三七畝）に本陣を置き、元就の長男、隆元と吉川元春は、山吹山の大手に当たる鍋ヶ城に、

小早川隆景は馬場のある鳩坂に、搦め手の草ヶ城は小笠原長雄がそれぞれ布陣し、一気に落とせと三日間にわたつて、息もつかせぬ総攻撃をした。

山吹城の城将は尼子晴久の家臣で、猛勇で知られた本城経光といい、岩石を投げおろし、敵を迷

路に誘いこむゲリラ戦で、毛利の軍勢をよせつけなかつた。

戦力の消耗を一番嫌う元就は、この苦戦ぶりを見て、謀略で城を落とすのが最善とし、早くもその青写真を胸に描いていた。

「もう一押しすれば屈服させられます」

という元春らの進言を退けて、全軍撤退の命令を出し、十日辰の刻（午前八時）ひそかに兵をひかせ始めた。全軍は祖式堅兼のいる祖式城を目ざし、吉川元春の千八百騎がしんがりとなつて、降露坂（四三〇畝）の急坂を退却しはじめた。

潮が引くように谷を行く毛利軍の動きを見た山吹城では、本城経光の二男、大藏左衛門らが人数をひきいて

「めざすは元就」と追跡を始めた。

七騎坂の戦闘

降露坂は昔は、祖式へ通ずる矢流道と、湯里、西田へ出る大江道の二つがあつた。土地カンのある本城軍は、元春軍を分断作戦で散りぢりにし、元就のまわりは手簿となつた。

「私の武運は尽きた」

追いつめられた元就はこのとき死を覚悟したらしい。毛利家の文書に

「太郎左、無かりせば余は危うく死せんとす」とあることでもわかる。

文書に出てくる太郎左、つまり渡辺太郎左衛門通は「私が身代わりになりましょう」と声を励ましてかけよ

り、す早く兜や旗さしものを交換し、そして旗さしものを目立つように掲げながら

「元就ここにあり」

と叫び叫び、大江道のコースを西田へ向つて走り走つた。

降露坂から西田へ通う
峻峻な道は、矢流山（五
五〇崙）など、山山が並
び立ち、荒々しい風景を
展開するが、通はどんな
思いで眺めただろうか。

通と行動をともしした
のは、波多野源兵衛、井
上与三右衛門、内藤九郎
右衛門、井上源左衛門、
三戸与五郎、三戸小三郎
ら六人の武士たちだった。
本城の軍勢は、この七人
の武士を、小人数と侮り、
本場に元就と思ったのか
どうかわからないが、し
つこく後を追って来た。
小浜から再び山道にか
かった、現在、JR山陰
本線が走る「七騎坂トン
ネル」の真上に当たる、
福光と小浜の境の峠で、
遂に七人は敵に囲まれた。
最後のようすは、よく
わからないが、毛利家文
書にただ「元就公に代わ
りて死す」とだけしかあ
らわれていない。

渡辺通は、どうしてそ
こまで元就に尽したのだ
ろうか。

通の父、太郎左衛門勝
は、通が未だ幼なかつた
ころ、元就にそむいて尼
子経久に内通し、謀叛人
として元就に討たれたこ
とがあった。のちに成人
した通は、備後の山内氏
のとりなしで、元就に仕
えることを許されたが
「まさかのときは、元就公
の為に死して、父の汚名
をそそぐ」と、心に誓っ
ていた。正にその、この
ときが来たわけで、通は
万感胸に迫る思いで戦死
したことだろう。

伝え聞いた小浜の人た
ちは、その純粋さに感動
したのに違いない。七人
の武士が討ち死にした、
黒松の下に地藏堂を建立
して、めい福を祈り、戦
死の場所を「七騎坂」と
呼ぶようになった。

渡辺通らの戦死を、ま

ざまごと目撃した黒松の
大木は、昭和四十年まで
生きながらえていたが、
松食い虫のために枯れ、
巨人が倒れるように姿を
消した。

なお山吹城攻めの敗戦
は、元就の生涯の中の大
難の最大なものだった。
この恨みが元就の胸を
いつまでも、とらえてい
たのだろう。謀略で本城
経光を懐柔して、山吹城
の開城に成功したあと、
本城経光を大原郡幡屋で
謀殺している。
なお渡辺通の子孫は、
幕末に至るまで毛利家で、
重く用いられた。



あじさいの七騎坂の松

会員の声

天領を毎号、本当に楽
しく読ませていただいで
います。

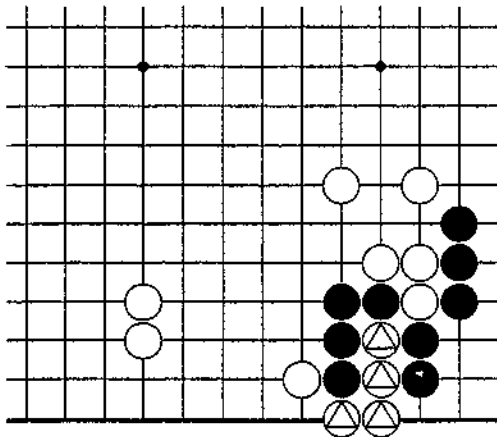
会社経営上、参考にな
る事項も多く、勉強にも
なり、又、地域の動向も
知ることが出来まして、
感謝しています。
郷土史家、石村楨久先
生の「天領秘話」も楽し
みの一つです。

それに、「石見銀山根ほ
り葉ほり」は、銀山史の
理解に役立てています。

数々の有益な企画を立
てられ、編集部員の方々
は、縁の下で大変御苦労
もあることとお察し、こ
の欄をお借りして心から
御礼申し上げます。
(一会員)

囲碁問題

黒先 ※狙いはもちろん△四子!



初春



あけましておめでとーうございます。
ことしは、がん保険制度発足
満10周年を迎えます。
「安心は、定期検診「がん保険」を
モットーに、一層みなさまの健康を願
大きな安心をお届けいたします。

法人会厚生制度
総合保障型
スーパーがん保険
無配当 新がん保険B型

■お問い合わせは 青木 恵 ☎08548(2)1338
〒694 大田市長久町長久イ-484 (株)チェスト内

野坂志津子 ☎08548(2)9447
〒694 大田市大田町大田イ-2749-5

■引受保険会社

AFLAC

アメリカンファミリー生命保険会社 広島支社

〒730 広島市中区本通7-19広島ダイヤモンドビル7F ☎082(240)9711

石見銀山・根ほり葉ほり

人口定住政策に 大久保石見守はこうした

石村 禎久

いまの日本の人口の流れは、都市集中の現象が強くなる一方のため、過疎地となる地域では「人口定住」「地域の活性化」といったことばを、お念仏のように唱えています。慶長五年十一月、石見に下向し、初代奉行となつた大久保石見守の鉾山行政、地方行政をふり返つてみると、いまは昔の「人口定住」「地域活性化」が鮮やかに見られるのは面白く、石見守はフレッシュな政治家だつたと、改めて見直されます。

鉾山経営の新鮮さ

石見銀山遺跡の下川原で、このほど見つかった

江戸時代初期の製錬施設の遺構は、大田市文化財に指定されましたが、毛利時代には戦力源として、山から銀を奪いとるだけの採鉾だつたのを、石見守は幕府直営の、試験場的な施設をつくり、銀の試し吹きを行い、沢山を間歩の善し悪しの見わけをつけ、お直山と白分山をさだめたりしました。この施設が、釜屋間歩という、歴史的な大鉾脈発見のきっかけもつかんだと、私は考えています。

さらに石見守は、鉾山中心の行政から、点と点を結ぶ経済交流と人口定住の政策へ、視野を広げ

ています。

大森に着任するとすぐ、銀を大坂へ送る方法を考え、大森から尾道まで百三十キ、幅二尺余りの、石州銀山道を整備し、一里塚松を植えました。銀山道は一般庶民の、安芸、備後、備中、備前と石見との、経済や文化の交流を促しました。

フレッシュな町づくり

街道開通に呼応して、盛んに「市」を奨励しました。月に三回、あるいは六回の市が立ち、中には一年中、市が立ったりし、市に集まる人々を目あてに茶店、宿屋、遊女屋などが出来て、活発な町づくりが進みました。いまも町の字名として、上市、中市、下市、あるいは市原、市場、新市、八日市、九日市などはその名残り、島根県内の他の地域にくらべ「市」

という地名が多いことは、石見守の行政の足跡の一つといえましよう。

さらに「市」によってつくられていく町を、一時的な現象にしないため、慶長十年十月には、大森や温泉津に、地錢(固定資産税)を永久に免ずる高札を立て「それぞれが安心して家を建て、居住するように」と呼びかけて、定住政策に成功しています。

銀山だけでなく、まわりの地域が活性化して、はじめて銀山の繁栄があると、石見守は考えてい

たのです。

温泉津町の温泉街は、江戸時代の初めは京見世、銀山の仙の山のふもとは「仙」の字を取って「上千京」「下千京」という、しゃれた名前にして、ムードづくりに気を使っているのも面白い。

石見守はとても筆まめで、出張先の宿屋などから次々と銀山方役人に手紙を出し、細かい注意をする反面に、激励することを忘れず、現場の人々にやる気をおこさせているなど、フレッシュな人でした。



大久保石見守

第14回 会員親睦ゴルフ大会開催



去る十一月七日、大社カントリークラブにおいて、第十四回会員親睦ゴルフ大会が開催された。心配されたお天気も、暑くもなく寒くもなく、絶好のゴルフ日和となり、会員の日頃の精進の良さが伺えるところとなった。今回は、皆が良く慣れた美久我コースからのスタートとなり、まずは奥野会長と大同生命の近藤支社長のお二人同時の始球式により（二人同時に打たれたハズであったが実際には緊張のせいか一寸ズレがありどちらに拍手してよいやら迷った人もいたようだが……）いよいよ熱戦の火蓋が切られた。

本日の参加者は十二組四十八名となり、このうち初参加者は六名であった。優勝は、初参加の谷本隆臣氏が見事獲得。ネット六十九、アウトとインとの差が一打のネット六十九はお見事！ちなみに、プレーヤー全員のアウトとインの総

打数を計算してみたら、アウトが二二八八打、平均四十七・六六、インが二〇八六打、平均四十二・四五となった。だんだんと体がホグれて来たと思えるべきか、ハタマタお昼のジョッキキーが効いたと見るべきか？ インでスコアが落ちた方は、わずか七人の十一打（平均一・五七）であった。（この方々は少々おみきが効きすぎたのかな？それとも優勝を意識しすぎたのかもネ……）

そのにしても、反省をしながらのお昼の一杯と終了後のコップ一杯のビールはこたえられない。（これがあるからやっているのかなあー『保証付の優勝間違っても無い者の弁』）

参考までに参加者の総打数は四三八六打、平均打数は九一・一二五となった。ハンディ三〇以上の方が十人いるスコアーとしては立派なものではないでしょうか。わが石見大田法人会会員諸氏の日頃の精進ぶりがうかがわれるというものでしょう。

本日の参加者には地元名産の「ごぜんそば」が参加賞として、入賞者には素適な島根和牛肉が贈られたようです。次回にはもつとたくさんの方の参加とアベレージのアップを期待したいものです。

それにしても、この大会が非常にスムーズに、かつ大変なごやかなうちに終了出来たことは、事務局並に数人の方の自発的なご協力があったればこそと考えます。改めて、お世話頂いた方々にお礼を申し上げたいと思えます。ありがとうございます。最後に、税を知る週間

の諸行事への協力と、納税意識の高揚を誓って、大変なごやかなうちに大会を終了しました。

競技終了後は、クラブロビーに於いて、懇親会に併せ表彰式が行われた。成績は次の通りでした。

表彰式

- 優勝 谷本 隆臣
- 準優勝 山崎 洋
- 三位 遠藤 忍
- 四位 清水 卓三
- 五位 市村 省吾
- 六位 大野 孝雄
- 七位 大畑 実成
- 十位 石田 弘行
- 十一位 永野 祥司
- 十五位 千田 相沢
- 二十位 金川 昭
- 二十五位 勝部 哲男
- 三十位 奥野 昌平
- 三十五位 和田 俊二
- 創立年次賞 勢田 房行
- 四十位 斉藤 寛
- B賞 林 基一郎
- B賞 森田 弘
- メーカー賞

- B G 賞 山崎 洋
 D C 賞 松井 順一
 〃 〃 大畑 実成
 〃 〃 永野 祥司
 N P 賞 山崎 洋
 〃 〃 勝部 幸吉
 〃 〃 俵 隆
- N P 賞 遠藤 忍
 D T 賞 森田 弘
 〃 〃 奥野 昌平
- 以上の方々が賞品を受
 けられ、次回の健闘を誓
 い合っておられた。

優勝のよろこび

谷本隆臣

ゴルフを始めて丸一年
 こんなラッキーマンにな
 れるとは夢にも思ってい
 ない事でした。

良き先輩、良き友人と
 共に、落ち込んだり時に
 は飛び上がった嬉しく
 やって来た一年でした。



この日の法人会コンペ
 では良きメンバーの方に
 恵まれ、また一ポイント
 レッスン等助言を頂き優
 勝の栄を得る事が出来ま
 した。二度と取れないで
 あろう優勝カップが我が
 家でハンデイさえ口を開
 けねば大きな顔をして座
 っています。

山あり谷ありのゴルフ
 でしたが、最初で最後に
 ならないようがんばろう
 と思っています。

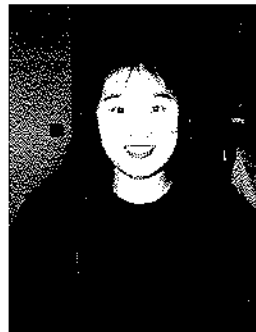
副賞のサーロインステ
 ーキも感激と共に本当に
 美味しく味あわせて頂き
 ました。

今後共、楽しくやって
 行こうと思っています。

わが社のふれっしゅさん

(株)島根建材公社

川上 純さん



①どんな動機で入社され
 ましたか？

地域に貢献する優良企
 業に入社し、活躍したか
 ったから。

②今、健康にいいことし
 ていますか？

スキー、テニスで健康
 維持に努めています。

③お好きな食べ物(料理)
 は何ですか？

水炊き、石狩鍋、中華
 料理、好きなものが多く
 困っています。

④お好きな音楽は？ 歌
 手は誰ですか？

演歌以外なら。

鈴木雅之他いろいろ。
 ⑤あなたの会社のPR
 をどうぞ。

「いい街、いい人、い
 い住まい、まごころこ
 めて、おてつだい。」
 のモットーのように、
 住まいの商品を通じて、
 お客さまのために、地域
 のために、お役に立ちた
 いと思っておりますので、どう
 かが愛顧の程、よろしく
 お願いします。

(有)小林造船所

酢谷 智恵さん



①どんな動機で入社され

ましたか？

地域活性化の一員とし
 て何かに貢献したいと思
 ったから。

②今、健康にいいことし
 ていますか？

なるべく自転車で通勤
 するようにしています。

③お好きな食べ物(料理)
 は何ですか？

納豆以外なら何でも。
 ④お好きな音楽は？ 歌
 手は誰ですか？

杏里
 サザンオールスターズ

⑤あなたの会社のPRを
 どうぞ。

日本海側では、数少な
 い造船所の一つである我
 社は、最近では漁船の他
 にも、高速艇、レジャ
 ー船等も手がけていま
 す。皆、自分の技術を
 活かし、船が出来上が
 る事を楽しみに、イキ
 イキと働いています。

どうぞ、見学におこし
 下さい。

保険の常識をくつがえした生きるための保険
法人会の経営者大型総合保障制度

新登場!!

ライブ

重大疾病保障定期保険 **ライブ** の特長

日本人の死因の約62%にも及ぶ

① **がん・心筋梗塞・脳卒中**
を対象とした保険です。

「がん」「心筋梗塞」「脳卒中」にかかったら

② **生存中に、保険金をお支払いします。**

(1)

がん 発病時	心筋梗塞・脳卒中 発病後 ^{2ヵ月} 経過後
-----------	---------------------------------------

生きるための**保険金**が
(重大疾病保険金)

生存中に支払われます。

(2) **死亡・高度障害**になられた場合でも

重大疾病保険金と同額が死亡・高度障害保険金として支払われます。

※上記(1)・(2)は重複しては支払われません。

これだ

(ご契約例)

- 男性、40歳契約、保険期間 70歳満了
 - 重大疾病保険金額：500万円
 - 保険料(月払)：7,075円
- (団体割引制度の適用で保険料は一般にご契約されるよりも割安です。)

(社)島根県法人会連合会

(社)松江法人会

(社)雲南法人会

(社)出雲法人会

(社)石見大田法人会

(社)浜田法人会

(社)益田法人会

(社)隠岐法人会

● 税のアラカルト ●

江戸時代のクジラ税

クジラが哺乳類の中で最大の動物であることはよく知られていますが、中でも大きなものは、全長三十三m、体重百二十t以上になるそうです。

さて、そのクジラの鯨という文字のつくりの「京」は、数字の単位で兆の一万倍を表わしていますので、「鯨」には、とほうもなく「大きな魚」という意味があるのでしよう。

ところで、江戸時代はクジラを一頭獲るだけで四千両という莫大なお金が入ったため、九州の西海岸は瀬戸内あたりからの出稼ぎのクジラ獲りで大変にぎわったそうです。このようなことから、平戸藩では文政年間、鯨

税を課していました。

税額は、鯨一頭の捕獲で百両だったそうです。

また、「地方大概集」という文献には、次の記述もあります。

「突鯨二十分の一、寄鯨三分の一、流鯨十分の一、切鯨二十分の一」

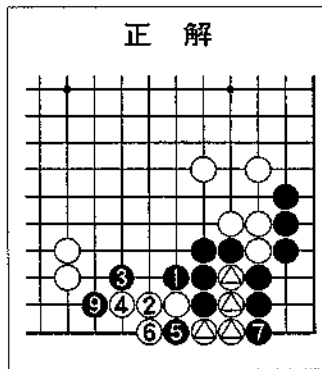
これは、捕鯨の困難さの程度によつて税金(当時の言葉で運上)の負担割合が異なることを示している興味があります。

つまり、モリで突いて仕留める突鯨は、危険度が非常に高いので負担税率が低く、漂着した鯨を仕留めるだけの寄鯨は、楽な分だけ税率を高くしたのです。

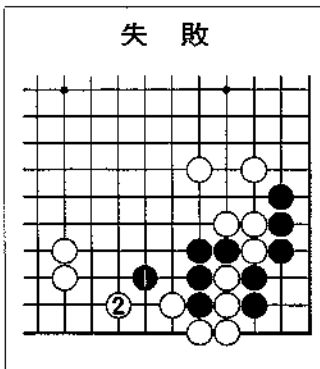
同じ所得でも危険の大小を基準にして税の負担を変えたのは、面白い史実です。

囲碁問題正解と失敗

⑧ツグ(5)



黒1といつたためて3とかけるのが正しい。白がどう抵抗しても④四子を助けることはできません。



功を焦つた黒1カケは白2でガク然。この後、黒はどう打つても白を取ることができないのです。

編集後記

本誌創刊以来、初めて正月号を発刊することになりました。

従来、税務署異動前の六月号と、税を知る週間終了後の十二月号とでしたが、今回正月号とした理由は、十二月十三日に開催された、大イベント「大田市の活性化を考えるシンポジウム」を是非共、記憶に新しいうちに掲載したいと考えたからであります。

パネラーの先生方も超一流で、会場の熱気は大変なものであります。

又、同時に発表された懸賞論文の評価も高く、二十一世紀に向つて個性ある地域づくりをして貰いたいものです。

最後になりましたが、此度、編集に御協力賜りました諸先生方に、心から御礼申し上げます。(広報部 渡辺)

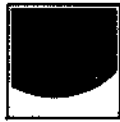
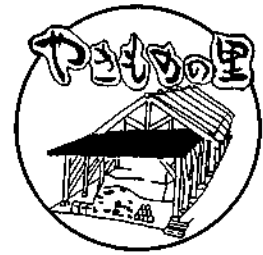
十二月二十二日火曜日、おしせまつての法人会広報委員会編集部会、委員長の渡辺先生の事務所まで四苦八苦、先生中心に税務署石川総務課長にお出でいただき、西村編集委員、勝部事務局長の五人で頑張りました。

皆さん大変な努力と時間をかけて完成した筈です。どうかすみずみまで読んで戴きたいと思ひます。(和田副会長)

温泉津やきものの里

やきもの館・のぼり窯

島根県瀬摩郡温泉津町温泉津イ22-2 ☎08556-5-4139



日本石油

田中石油(有)

本社 大田市久手町
TEL 08548-2-8304

コンビニエンスストア
沢田給油所 / 久手東給油所 / 小田給油所 / RICおだ

君は
パーティーの
華になる。

NIMAYA
HAPPY
HWEDDING
仁石屋

〒694 島根県大田市大田町 ☎08548-2-1050

中国運輸局長指定工場

島根日野自動車(株)
山陰いすゞ自動車(株)
日産プリンス山陰販売(株)
山陰三菱ふそう自動車(株)
島根日産自動車(株)
石東スズキ販売(株)
日産ディーゼル山陰販売(株)
全 労 災 島 根

指定
サー
ビス

民間車検工場

有限会社 山中モーター

〒694 島根県大田市大田町
TEL(工場)2-0473・FAX2-8899

建設資材総合商社



株式会社 島根建材公社

取締役社長
寺戸隆文

本社 / 大田市大田町大田イ431-7
TEL(08548)2-0860(代)・FAX2-0867

営業所 /
広島・松江・隠岐・境港

不動産鑑定評価

渡辺不動産鑑定事務所

所長 不動産鑑定士 渡辺常弘

浜田市殿町109番地6
☎(0855)23-0050(代)・FAX(0855)23-1222



社団法人 石見大田法人会会報 第24号

平成5年1月15日発行

発行所 社団法人 石見大田法人会

編集 広報委員会 委員長 渡辺常弘

大田市大田町 大田商工会議所内
TEL (08548) 2-0765

印刷 月 橋 印刷

大田市島井町 TEL 2-0540